

■ 空間・工業意匠研究室 担当教員：教授 比留間 真

本研究室は、組立建築、工業化住宅、建築の工業化・規格化といったテーマを対象に研究しています。社会的・歴史的観点からデザインの役割について考えながら、時代に即した問題意識を持って空間（インテリアから建築、景観設計など）および空間構成要素（家具・什器など）、プロダクト製品（生活家電・モビリティなど）の設計・デザイン提案を行います。

空間や立体系デザインの素養を備えた学生、また建築からインテリア、プロダクトデザイン系の進路を志す学生を広く対象とします。

■ ビジュアルコミュニケーション研究室 担当教員：准教授 李 盛姫

本研究室では、Visual Communication Design（ビジュアルコミュニケーションデザイン）を軸にしたデザイン研究をおこないます。多様な社会や文化、日々進歩していくメディアと情報技術のなかで、世の中を社会をより豊かでハッピーにする「モノ」・「コト」のコミュニケーションデザインを一緒に考え、創造していきます。

■ インテリア・家具研究室 担当教員：教授 坂元 愛史

■ 研究室の目的

家具とそれが織りなす空間を中心とした未来の暮らし方について探っていきます。

■ 卒業研究の姿

主としてインテリアと家具の関わる分野において、これからのあるべき生活について“コト”の構想と提案を行い、それを実現するための“モノ”を可能な限り実寸で制作します。

■ 期待する研究生像

インテリア、家具に興味と関心があること。

論理的な探求心を持ち、作業に対して強い意欲があること。

進路について明確な計画と実行力を持つこと。また自分を冷静に分析できる力を持つこと。

■ プロダクトデザイン研究室 担当教員：准教授 谷上 欣也

本研究室は生活を楽しく、豊かに、快適にするためのプロダクトデザイン（製品）について研究しています。便利さのみの追求ではなく、使う人の心までも豊かにできるものを考えます。

- ・人とモノ、モノと環境、モノとコトの関係についても深く考え、提案をする。
- ・現在ある技術にとどまらず、ある程度は将来実現性のある技術を採用することを前提とした提案も可能とする。
- ・実社会におけるデザイン開発のように、十分な調査・分析をおこなった上でデザイン提案に結びつける。デザインプロセスを重視する。
- ・最終提案では想定するターゲットユーザーによる検証結果を報告する。

■ 価値創造研究室 担当教員：准教授 西野 隆司

本研究室は、社会の様々な問題解決に提案を通じ、新たな価値創造を目指す。金銭的な価値に留まらず、心の豊かさ、自然の恵みなどにも目を向ける仕組みづくり、身の回りの小さな問題解決、異

■ 視覚伝達デザイン研究室 担当教員：講師 江南 仁美

本研究室では、視覚伝達デザイン [Visual Communication Design] を基盤とした、デザインを研究します。デザインの根源のひとつに「人に想いを伝えるにはどうすればいいか」を考え、実現することがあります。問題やテーマは与えられるのではなく自分から探し、発見すること。まずは自分を見つめ直すことから始まり、そしてデザイン思考を深め、実践 [スタディ] する。アナログからデジタルといった多様なメディアと共に、これまで培ってきたデザインや表現をひとつに融合し、社会的立場を踏まえ新しいメッセージを発信することを大切にします。

【主な専門領域】

- ・ヴィジュアルコミュニケーションにおけるグラフィックデザイン、視覚言語
- ・タイポグラフィ領域
- ・ブックデザイン、編集とデザイン